

従来の改善ツール、ポカミス対策の壁をぶち破る

# ポカミスゼロへのアプローチ セミナー

## 26の要因と20の対策 + モラルアップ + AI

でポカミスを永遠にゼロにする

### ● こんな悩みはありませんか？ (本セミナーでは、こういった悩みを解決します!!)

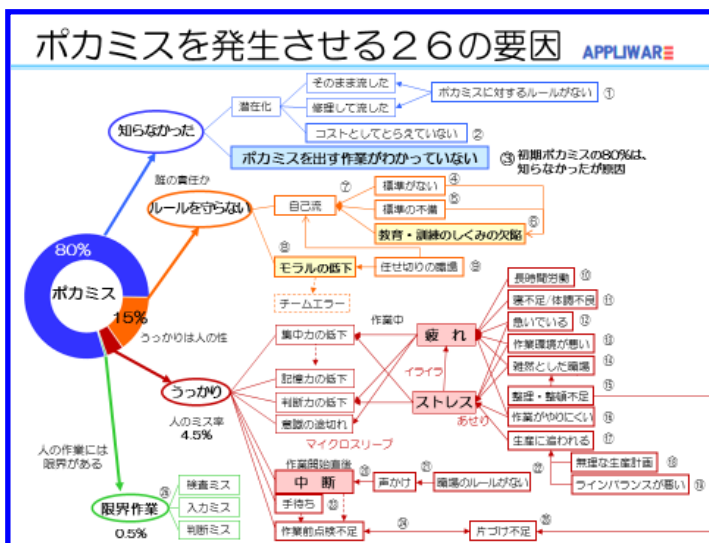
- \* ポカミスがゼロにならない。 \* 今までのポカミス対策に限界を感じている。
- \* ポカミスのすべての要因と、有効な対策を知りたい。 \* 職場のモラル低下に悩んでいる。

本セミナーでは、ものづくり現場における永遠のテーマである「ポカミス」対策を分かりやすく解説いたします。

講師は 10,000 件以上のポカミスを分析し、**26の要因**と発生メカニズム、それぞれの現象、要因に対する**20の対策**を見つけ出しました。

特に、NG/OKシートは、今発生しているポカミスを即ゼロにできる優れたものです。

また、作業者がルール（標準）を守らない理由を教育・訓練のしくみの欠陥とし、ビデオ標準によるこれからの時代に合った教育・訓練のしくみを提案します。



「うっかり」に関しては、作業者思いの対策により、疲れとストレスを軽減することからゼロにしていきます。更に、どうしてもなくなる検査ミス、入力ミス、判断ミスに対してはAIを活用し、ゼロにする試みを紹介します。

人は、環境の生き物です。品質、ポカミスにはどうしても作業者のやる気（モラル）が関わってきます。そこで、本セミナーでは、アメリカの生産管理理論、心理学、経営学、脳科学、日中の歴史から現場のモラルを上げるアプローチをご紹介します。現場のモラルを上げることにより、ポカミスがなくなり、品質と生産性が上がります。まさに、やる気→やる知恵（本ツール）→やる腕（実践）です。



### 開催日、場所

開催日：2018年 8月28日(火) 10:00~17:00

場所：(公財)関西生産性本部 会議室(中之島センタービル28階) [大阪市北区中之島 6-2-27]  
\* 京阪電車「中之島駅」下車。2番出口から、西へ徒歩約5分

### 講師

(株) ロンド・アプリウェアサービス 代表取締役社長 中崎 勝氏

進呈！(講師著書)



1981年 ㈱ブリヂストン入社、生産技術、設備設計に従事。'87年3月に同社を退職。同年4月 日本DEC(株)入社し、システムエンジニアを担当。'92年 ㈱ロンド・アプリウェアサービスを設立、現在に至る。様々な不良の撲滅やヒューマンエラー対策など製造現場の各種課題の改善において、短期間で効果を出すオリジナル・ツール(実践アプローチ)によるコンサルティングに定評がある。また最近では、IoT、AIのものづくりへの適用を提唱し、情物両面による課題解決を実践指導している。【主な著書】『やりたくなる5S新書』、『ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド』(日刊工業新聞社刊)。

### 対象

〈おことわり〉コンサルタント業の方のご参加は、ご遠慮下さい。

- 工場長、製造部門、品質保証部門の責任者
- 製造現場の管理・監督者、製造スタッフ、品証部門のスタッフ、検査課長、係長

■ポカミスがゼロにならずに悩んでいる方

内 容

<p><b>1. ポカミスゼロへのアプローチ</b></p> <p>① ポカミスとは、ポカミスがなくなる理由                  ② 26の要因、人の改善に対する方程式                  ③ 初期ポカミス（80%）の原因をつぶす                  ④ ルールを守らせるには（モラルアップ+教育・訓練）                  ⑤ うっかり対策（従来の対策+作業員思いの対策）                  ⑥ 検査ミス、入力ミス、判断ミスをAIでゼロ化する                  ⑦ 20の対策と3つのアプローチ：小集団、日常、組織                  ⑧ ポカミスは、従来の改善+6つの手法でゼロになる</p> <p><b>【ポカミス対策の事例紹介】</b></p> <p><b>2. 実践2Sへのアプローチ</b></p> <p>① 2Sでポカミスの遠因を対策する                  ② 2Sを短時間で効果的に実践する：更地化                  ③ 変化に対応できるしくみづくり</p>	<p><b>3. 標準整備へのアプローチ</b></p> <p>① 標準の実態                  ② 標準を改善する                  ③ 標準整備の7ステップ</p> <p><b>4. ビデオ標準作成へのアプローチ</b></p> <p>① 教育・訓練の実態：                  新たな教育・訓練のしくみづくりの必要性                  ② ビデオ標準で標準遵守、多能工化、技能伝承を                  スピーディーに確実に実現する                  ③ ビデオ標準作成の7つのポイント                  ④ ビデオ標準による教育・訓練の運用ポイント</p> <p><b>5. モラルアップへのアプローチ</b></p> <p>① モラルの実態、モラルと生産性の関係                  ② モラルとは、モラルを上げるには（動機付け）                  ③ やる気にさせる8つの施策                  ④ 尊敬される上司になる                  ⑤ 人は環境の生き物</p>
--	---

（おことわり）都合により、内容が一部変更となる場合があります。

**参加費 ※1名につき**

※定員：34名

**申込締切日**

8月20日(月)

関西ならびに他地区 IE 協会会員	28,080円	★【注】参加費には、テキスト(カラー)代、参考書籍『ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド』（日刊工業新聞）代、消費税を含む。（昼食代は含みません。）
生産性本部賛助会員	33,480円	
一般（会員外）	43,200円	

お申込方法

- ① 下記「参加申込書」に必要事項をご記入の上、Faxにてお送り下さい。  
 \*「派遣者」欄にもご記入をお願いします(セミナーなどのご案内を、Eメールでご案内致します)。
- ② 「参加証」「会場略図」「請求書」は、参加者あてに開催日の約3週間前から発送を開始致します。  
 ※「参加証」は当日、受付にお渡し下さい。参加費は「請求書」に記載の期日までに指定銀行へお振り込み願います。
- ③ 8月20日(月)以降のお取り消しの場合、参加費の全額を頂戴致します(代理の方をご派遣下さい)。
- ④ 録音・写真撮影、パソコン使用は、ご遠慮下さい。

お申込み先

公益財団法人 関西生産性本部 「関西IE協会」(担当:佐藤・南)

〒530-6691 大阪市北区中之島 6-2-27 中之島センタービル 28 階

TEL: 06-6444-6464 FAX: 06-6444-6450 **【HPからのお申込み】⇒ <http://www.kpcnet.or.jp/>**

(公財)関西生産性本部 佐藤 行(FAX: 06-6444-6450)

2018年度「ポカミスゼロへのアプローチセミナー(8/28開催)」参加申込書

(ふりがな) 組織名	( )	会員区分 (ご加入の会員様は、 ○印をお付け下さい)	関西・(他地区: )IE協会 生産性本部
所在地	(〒 - )	TEL:( ) - FAX:( ) -	
派遣者	事業所名、所属・役職名	氏 名(ふりがな)	( )
		E-mail:	
参加者	事業所名、所属・役職名	氏 名(ふりがな)	
	【所在地】 ※上記「派遣者」と異なる場合のみ、ご記入下さい。 (〒 - )	E-mail:	
		TEL:( ) - FAX:( ) -	

※ 個人情報の取扱いについて

(2018.04.10)

①参加申込によりご提供頂いた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.kpcnet.or.jp/>)をご参照願います。参加者・派遣者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込み頂きますようお願いいたします。②個人情報は、本事業実施に関わる資料作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。③本事業実施に関して必要な範囲で参加者名簿等の資料を作成し、当日講師と関係者等に限り配付させていただきます。但し、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。④個人情報の開示、訂正、削除については、本事業担当(TEL:06-6444-6464)または個人情報保護担当窓口(TEL:06-6444-6461)までお問合せ下さい。⑤本案内記載事項の無断転載をお断りします。